

<金標準先物、信用リスクや逃避で買われ目先調整安の域・・・>



(出所：オアシス)

シリコンバレー銀行の破綻から始まった金融市場の混乱は、クレジットスイスをスイス中銀の仲介の元で大手 UBS が買収を行う事で合意し、シグネチャー銀行もフラグスター銀行が買収を発表するなど信用リスクが落ち着きを見せ、FOMC ではインフレ抑制を踏まえ FF レート誘導目標レンジを 0.25%引き上げ、4.75%~5%にしている。またパウエル FRB 議長は「必要に応じて一段と金利を引き上げる用意がある」と言及したが、市場は金融不安を抱え金利引き下げを織り込む動きを強めている。そのため NY 金が逃避の債券買いと金利低下の思惑が強まり、ドル安を背景に 2000 ドルを付けるなど高値追いを見せている。

特に金標準先物も 8436 円まで高値を試すなど 2022 年の高値 8160 円を上回っている。ただ逃避の円買いも強まるなど、円高が目先高値追いを抑える動きを見せ、週末のドイツ銀行の株価の下落でも逃避買いの動きも続かず、片方では円高が進むなど 8284 円まで下げて終わるなど、目先は調整安へ移行し 8200 円を割り込む値動きに注意した方が良いと思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** の上昇が止まり、**シグナル**は上昇するなど乖離が縮小している。RCI では**短期**が下げだし、**長期**は維持するなど強気を維持する中で目先の調整安には注意が必要と思え、**10 日移動平均線**が位置する 8240 円に向けた下値追いには注目した方が良いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,685,000 円(2023 年 3 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 39,160 円(2023 年 3 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30) 証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター <https://www.nisshokyo.or.jp>